

平成 25 年度第 1 回東浦町子ども読書活動推進会議議事録

日 時：平成 25 年 6 月 27 日（木） 13：30～14：30

場 所：東浦町中央図書館小会議室

出席者：青木美奈子（委員長）、鈴木順子（公募委員）、服部理恵（緒川小学校教諭）、
伊藤世志子（石浜児童館長）、村瀬典子（母の会代表）、長坂鈴代（森岡西保育園）、
千東正子（ボランティア代表）、松下玲子（元 P T A 代表）

事務局：稲葉教育長、長坂教育部長、成田図書館長
水野館長補佐、杉浦図書館指導員

傍聴者：なし

開会

1 あいさつ

(1) 教育長

- ・読書へのいざないについて自分自身の子どものころを振り返ると、英語塾の先生が「トムソーヤの冒険」を話してくれたのがきっかけで、本を読むようになった。東浦の子どもたちが本好きになるように、この子ども読書活動推進会議では、来年度に向け第 2 次計画を作成していく予定である。

(2) 委員長あいさつ

- ・先日の中日新聞の一面にこの図書館で南吉の手紙発見の記事が載っていて驚いた。南吉の生誕 100 年目にしてタイムリーに発見できたことがよかったと思う。
- ・子ども読書活動推進計画は、国の法律を受けての活動。5 月 17 日に国の第 3 次計画が出た。図書館が心の居場所となるようにという文言が出た。

2 議事

(1) 平成 25 年度実績計画について

- ・事務局が、計画書を基に説明する。

〔質疑・意見交換〕

委 員；今、特集展示をしている「はじめての童話」はいつまでか。

事務局；今日まで、明後日からは新美南吉の特集展示をする予定。

委 員；この「はじめての童話」は、とてもよい企画だった。「かいけつゾロリ」の後、何を讀むかと考えたとき、この展示は大変魅力がある。中に入ってしまうと、子どもたちがこれらの本がどこにあるか分からなくなる。

委 員；展示が終わってもどこかに常設してほしい。子どもに目に入る位置に面展示してあるとよく分かる。

委 員；児童新刊案内の「よむらび」で紹介されている本は、どのように配架されているのか。

事務局；新刊コーナーにある。

委 員；「よむらび」の中に、新刊コーナーに配架されているということを明示してほしい。

(2) 子ども読書活動推進計画改訂について

- ・事務局が、資料を基に、改訂にあたっての計画と施策体系図について説明する。

〔質疑・意見交換〕

委 員；5 年間の反省と今後の課題は、どの程度のものを準備するのか。

事務局；A 4 1 枚程度と考える。次回までに様式を作成しておく。それに当てはめて書くことができるようにする。難しく考えず、5 年間でこのような活動をしてきたということがまとめられればよい。

委 員；私立幼稚園に通わせている保護者から聞いたことだが、保育園や児童館、図書館で行われる行事などの情報が入ってこないとのこと。東ヶ丘幼稚園には、他市町から来ている

子もいるが、保護者が何とか情報収集できるような対策があるとよい。

教育長；東ヶ丘幼稚園は、他の幼稚園より東浦町との結びつきはよいと考える。保育園と同じように情報を流したり配布物を渡したりすることを進めるよう今後課題としていきたい。

事務局；2次計画のスローガンの文言はこれでよいか。

教育長；子ども読書活動推進計画にスローガンは必要である。本の楽しさを子どもたちにみんなで伝えるという意味でよいのではないか。

議長；これでよいと思うが、また新しい考えや言葉があれば、次回にも意見を言ってもらおうこととする。

教育長；見開きの計画、施策体系図のところだが、具現化の3つの柱が右ページと左ページで縦・横が逆になるので見にくい。見やすくできないか。このままなら、見開きではなく、表裏のページになれば、別のものとして見るので、このままでもよい。

事務局；次回までに、縦・横がそろった表を用意しておく。

委員；今までの計画書が細かすぎたので、簡略されて見やすくなった。

(2) その他

①次回の日程調整

②配布物の説明

「よむらびものがたり」の説明で委員より意見有り

委員；赤木かん子が出している「読書力アップ 学校図書館のつくり方」に学校図書館の環境づくりで、かえるのぬいぐるみを使った「かえる司書」をカウンターに置いている学校の実践が載っている。「よむらび」もぬいぐるみを作って、学校にも置いてはどうか。よむらびを図書館だけでなく、学校図書館にも広げるとよい。そうすれば町内では、本イコールよむらびと結びついていく。

教育長；よむらびのぬいぐるみを読書感想文コンクールの賞品にするとよい。